

## 教育研究業績書

令和6年 3月31日  
氏名 木村雅代 印

研究分野	研究内容のキーワード
地方創生と ICT 教育 話し方、こどものキャリア教育	関係人口、こどもたちの活動、ICT活用、インターネットラジオ ことば、コミュニケーション力、社会人基礎力、地方創生、愛着心 発信、交流、繋がり、視座、視点、コロナ禍

### 教育上の能力に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1. 教育方法の実践例	2009年4月～ (平成21年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業において配布資料は勿論、パワーポイントなども活用し学生にとってわかりやすい授業を心掛けている。</li> <li>・拍手や頷きを加え、お互いを認め合い、高めあえ、質問などもしやすい安心安全な場づくりに努めている。</li> <li>・自ら学び発言できるよう、課題を提示し人前で発表する機会を多く設けている。</li> <li>・グループワークを取り入れ、人との関わりや視座を変え学ぶ大切さを伝えている。</li> </ul>
2. 作成した教科書、教材		
3. 教育上の能力に関する大学等の評価		学内アンケート結果より 毎回、高評価を頂いております。
4. 実務の経験を有する者についての特記事項		
5. その他		

### 職務上の実績に関する事項

事 項	年 月 日	概 要
1. 資格、免許	1988年3月 2016年11月 2020年1月 2021年3月 2021年9月	幼稚園教諭Ⅱ種免許状取得 日本教育カウンセラー協会初級カウンセラー資格取得 キャリアコンサルタント国家資格取得 関西カウンセリングセンター認定心理カウンセラー資格取得 SNSカウンセラー協会 SNSカウンセラー資格取得
2. 特許等		

3. 実務の経験を有する者についての特記事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーアナウンサーとしてラジオテレビに出演。イベント式典などの司会進行も多数経験。</li> <li>・地方創生とこどものキャリア教育をねらいとする里山での親子イベント主催開催。</li> <li>・絵本の読み聞かせ、朗読活動。</li> <li>・インターネットを使ったオンラインイベント(神戸新聞主催) こども向けワークショップ(阪急阪神ホールディングス株式会社共催) 講師</li> <li>・兵庫県若者育成事業に従事</li> </ul>
4. その他		

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文)	共著	2022年10月	日本教育工学会研究報告集 2022 (3), 26-33, 2022-10-03	<p>「地方創生における関係人口づくりとICTの活用によるラジオ番組制作で獲得する子ども達の可能性」</p> <p>関係人口増加を目指して、子どもたちによるインターネットラジオ番組の制作・発信に取り組んでいる。人口1万人の兵庫県神河町をフィールドに、全校児童17名の小学校で「出前授業」と「収録」を繰り返し、その第一回目の配信を終えた。</p> <p>それは、ラジオの特徴、発声、呼吸法などを一緒に学び、「まちの宝物」をそれぞれが探求し言語化を行ない、子どもたち自身により、豊かなまちの風景を世界へと発信することができたものである。本稿では、ICTを活用することで広がる子どもたちの可能性と、ラジオという聴覚媒体の教育への有効性について報告する。</p>
	共著	2024年3月	日本教育工学会 春期全国大会	<p>大学院修士課程での研究活動として、関係人口増加を目指した子どもたちによるインターネットラジオ番組の制作・発信に取り組んできた。人口1.1万人の兵庫県神河町をフィールドに、全校児童17名の小学校で「出前授業」と「収録」を繰り返し、4回の配信を終えた。ラジオの特徴、発声、呼吸法などを一緒に学び、「ま</p>

				<p>ちの宝物」をそれぞれが探求し言語化を行ない、子どもたち自身により、豊かなまちの風景、まちの風習や方言などを世界へと発信することができたものである。1年間の活動を通して獲得した子どもたちの変化を、前回の中間報告のまとめとして行う。加えて、今回の活動を通じて、大人やまちの変化も生じ、「ICT活用のラジオ番組制作」が町との連携事業として継続するかたちを得た。ICTを活用することで広がる子どもたちの可能性と、ラジオという聴覚媒体の教育への有効性、加えて地方創生における事業展開について報告する。</p>
<p>(その他) 「関係人口増加にむけた子どもたちの活動でのICT活用の検証」</p>	<p>単</p>	<p>2023年3月</p>		<p>2019年より世界的に拡大した新型コロナウイルス感染症。想定外の生活は、多くの者の生き方や価値観をも変えています。そんな中急速に高まった教育現場でのICT活用。まだ多くの課題はあるものの、国の「デジタル田園都市国家構想」では、沖縄の子どもたちが東京の大学生講師とのオンライン遠隔双方向授業で、コミュニケーションをとりながら、繋がり学びを得、3年間で全科目全国平均を上回るという成果を。又、人口1万人の宮崎県都農市では公立中学校全体でICTを活用し「キャリア教育」を「まちづくり教育」と位置づけ地方創生に乗り出しています。そんな先行事例を基に、兵庫県神崎郡神河町(人口約1万人)をフィールドに、子どもたちとICTを活用したインターネットラジオ番組を作成し世界に発信。自分の故郷を知り、自ら表現する力を養います。加えてそのプロジェクトに多くの町内外の方々に関わって頂き交流。番組リスナーも含めた神河町ファン=質のよい関係人口の増加につながるかを検証した。</p>